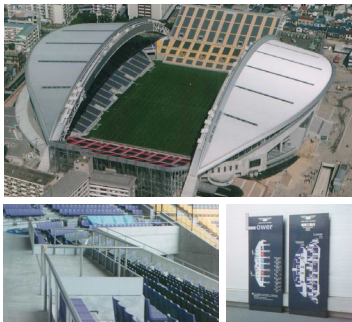


福祉部門



神戸ウイングスタジアム (神戸市兵庫区) 【施設】



- ワールドカップの会場としても利用された競技場で、地下鉄や地下駐車場からエレベーター等によりバリアフリーでアクセスが可能であり、70席確保された車いす用区画へは、主動線であるスロープを通して他の観客と同じようにメインスタンドへアクセスができる。
- トイレ出入口の触知図案内板、スタンドごとに色分けされた見やすい案内表示、4カ国語表示やスロープの手すり端部の点字表示など、障害者や外国人等あらゆる観客に配慮している。

阪神電車 岩屋駅 (神戸市灘区) 【施設】



- 階段アクセス型からバリアフリーに改修した駅舎で、誘導用ブロックと誘導チャイムを併用することで、触知図式の構案内板や点字表示付き券売機への動線を明確にしている。
- プラットフォームには固定式の転落防止さく、非常通報ボタンを設置し安全を確保するだけでなく、音声に加え電光掲示板の文字情報によって電車の接近を知らせる案内等を行う他、上り下り各線にエレベーターやオストメイト対応の障害者用トイレの整備も行っている。

宝塚福祉コミュニティプラザ (宝塚市) 【施設】



- ボランティア施設、新老人施設と大型児童センター、そして知的障害者通所更正施設からなる複合施設で、ボランティア施設は介護ベッドやオストメイト用の設備を設けた多目的トイレを整備している。
- 点字電話帳の設置、2階の会議室すべてに磁気ループ式の集団補聴設備を設置するなどあらゆる障害者に対応できるように配慮している。
- 非常時の避難対応も徹底しており、避難用テラスや棟間に渡り廊下を設け車いす使用者が安全に避難出来るよう整備している。

地域福祉総合センター いたみいききプラザ (伊丹市) 【施設】



- 県内で初めて赤外線音声情報案内システムを整備した施設で、レシーバーを通して各部屋やエレベーター前、トイレ内に設置された発信器から送られる赤外線のメッセージを受信し、視覚障害者が施設内を自由に移動できるよう配慮している。
- 車いす使用者や高齢者に対応した手すり付き調理台、ベビーシートや小児用小便器を備えたトイレなど小さな子供連れの親子にも配慮している他、玄関入り口の長いひさしで車いす用駐車区画を覆うことにより、雨の日の乗り降りにも配慮している。

ゆめのくにこうえん (東条町) 【施設】



- 建設前からワークショップを開き地域の子供たちと共につくった公園で、トイレ棟の壁面に飾る陶板や公園銘板を制作し、共に成長するようにと記念植樹した樹木を育てていく活動を行っている。
- 再生木材を利用したスロープ沿いに誰でも安定して座れるゆりかご型のブランコや車いすで乗り場まで近づける滑り台、聴覚や視覚を使って遊べる遊具などを設置している。
- 公園内のすべての場所へ周回する園路沿いには、フラワーベッドや芝生に乘乗できる工夫がされたベンチも設置している。

洲本市健康福祉館 (洲本市) 【施設】



- 周辺に建ち並ぶレンガ造りの建物に配慮した外観の、健康と福祉に関する行政機能と診療所を備えた施設で、機能訓練でも利用できる長いスロープを2階の機能訓練室から設けており、建物の特徴的なデザインにもなっている。
- エレベーターのボタンは、車いす用、一般用と分けず、双方が使いやすいユニバーサルデザインとなっている。
- 非常時の避難対応としては、弱音・難聴者のために非常口の点滅誘導灯に加え、床に点滅誘導システムを設置している。

みこはた 神子畑いろいろハウス (朝来町) 【住宅】



- 高齢化率の高い地域に、独居高齢者の安全な生活を確保するために建てられた但馬では初のコレクティブ住宅で、冬場の交通事情や健康管理などを考えて、一時的な利用をする入居者もいる。
- 玄関にはベンチを設置し、廊下には足下灯や手すりを設置している。
- 電熱掘りごたつのある広いリビングには、在宅健康管理システムが備わっており、血圧、心電図を町の保健福祉課が毎日確認するほか、テレビカメラ、ファクスでのやりとりや1日1回の訪問も行われている。